

# 医療法人名南会 第48回定時総会特集号

## 第48回 定時社員総会のご案内

法人定款第22条、第25条及び第27条の規定による「医療法人名南会 第48回定時社員総会」を下記のように開催いたしますのでご通知申し上げます。

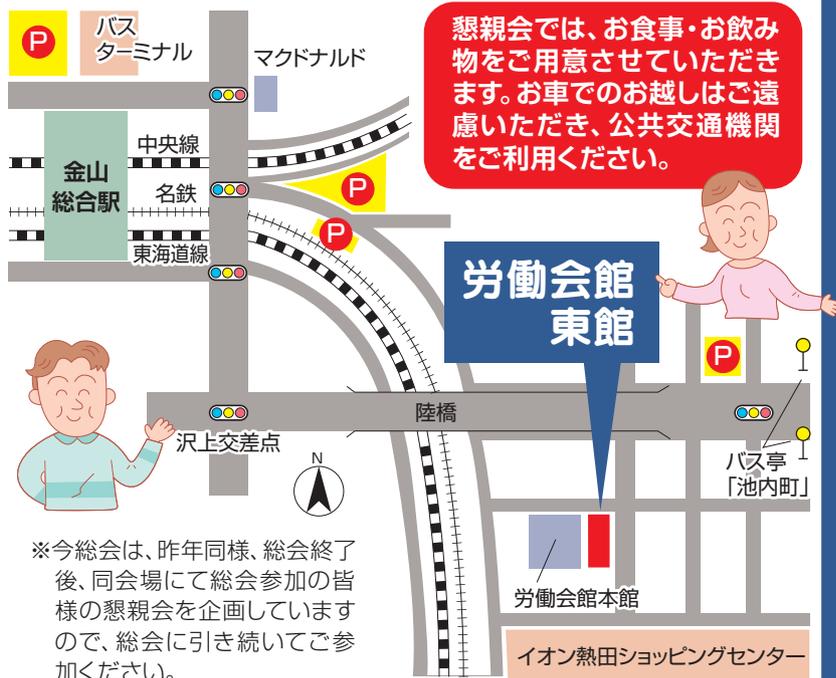
2013年5月 医療法人名南会  
理事長 三宅 隆史

### 総会日程及び会場

●日時: 2013年**5月26日(日)**

開場・受付開始	午後1時30分
総会議事	午後2時00分～4時00分 (休憩)
総会参加者懇親会 (同会場にて)	午後4時30分～6時00分

●会場: **金山・労働会館 東館2階ホール**  
地下鉄・JR・名鉄線  
金山総合駅下車、  
東口から徒歩10分



第457号(部内資料)  
(毎月1回、1日発行)

発行  
医療法人 名南会  
名古屋市南区豊田  
五丁目15番18号

発行責任者  
西本 義弘  
☎052-692-2388

年間購読料600円  
一部 50円

## 2012年度諸活動と2013年度活動方針案

### 2012年度の 特徴的な活動

①各院所の  
2012年度の  
活動のふりかえり

## 名南病院

- 1 病院リニューアル1年目として、外壁と手術室の改修をおこないました。「すっきりして、名南病院であることがわかりやすくなった」「患者さんに安心感を与える優しい手術室になった」などの声が聞かれました。2013年度は内装のリニューアルをおこないます。
- 2 無差別・平等の医療の実践としての無料低額診療は、今年度延べ85件の利用がありました(昨年10月開始以来では101名が利用)。無料低額診療が生活保護受給につながり生活再建に結びついています。一方在留資格のない外国人の受診依頼が市内外から増えており、無権利状態にある医療の必要な外国人が広範に存在していることが浮彫りになっています。経済的な理由で受診ができない方を地域からなくす取組みを一層すすめるとともに、在留資格のない外国人への医療扶助を行政に求める取組みをおこないます。
- 3 医師育成については、早川モモ医師の小児科4年目後期研修、中島医師、伊藤春見医師の糖尿病の専門研修が順調にすすみました。また協力型臨床研修病院として愛

▼リニューアル第1期工事(外壁の修繕と塗装)が12月に完了した名南病院



知民医連の初期研修医の受入をおこないました。

- 4 糖尿病医療は、糖尿病初心者教室や献立セミナーを積極的に開催してきました。また栄養指導やフットケア、糖尿病透析予防に力を入れてきました。また「世界糖尿病デー」など糖尿病療養指導研究会の活動を活発におこないました。
- 5 外科・整形は、骨折など高齢者救急・乳腺診療・腹腔鏡悪性腫瘍手術を3本柱に、安全・標準化・力量向上を重視してきました。
- 6 乳がん検診は5年連続1000件の目標を達成しました。検診を通じて乳がん5件の発見があり7件の手術を実施しました。また大腸がん検診は2件(内手術2件)が発見されました。
- 7 入院は病床稼働を一般病床3床増やし135床の稼働としましたが、リニューアル工事による手術停止の影響もあり、収益は予算を大きく下回りました。大病院を中心とした地域連携はすすんでいます。

## 名南 ふれあい病院

2012年度のふれあい病院は、6月に病院機能評価Ver.6.0受審、12月には東海北陸の民医連事業所から医療安全代表者による院内巡視、3月には名古屋市による介護保険の実地指導と、この1年間、外部から病院内をみてもらい評価していただく機会が多く、病院あげて業務改善運動にとりくむ一年になりました。

- 1 回復期リハビリテーション病棟  
8月からリハビリテーション充実加算の算定を開始し、より充実したリハビリの提供に取り組みました。365日のリハビリ提供を継続強化し、他職種協同でチーム医療を推進し、在宅復帰率を高めました。
- 2 介護療養型医療施設  
重介護を要する患者様が増え、介護量が増えています。生活の質の向上を目指し四季の行事などを充実させました。
- 3 外来  
特定健診・協会けんぽ健診・友の会健診を大いにすすめ、待合室で資金募集や署名運動にも取り組みました。
- 4 組織活動 その他  
毎月、地域訪問行動や近隣ショッピングセンター内のまちかど健康チェックを実施、ふれあい健康フェスタや地域学習会を成功させてきました。外来や病棟での資金募集の訴えをおこない、事業所としての資金募集年間目標を達成しました。



● 2頁につづく ●

めいなん新聞は通常一世帯一部でお届けさせていただいていますが、今回は「総会特集号」のため社員、名南会協同基金協力者のおひとりおひとり一部ずつお届けさせていただきます。

## ● 各院所の2012年度の活動のふりかえり・1頁からのつづき ●

## 名南 診療所

▼毎年恒例の名南診まつり(10月)は今年も大盛況



名南診療所は在宅療養支援診療所として365日24時間対応の体制をとり、現在は毎月約130件のお宅に訪問診療・往診にうかがっています。

体が不自由で通院が困難な方、人工呼吸器や点滴・経管栄養の管理、褥瘡ケア、がん末期を含むターミナル管理から看取りまで、さまざまな医療管理を必要とする方々の在宅療養を法人内外の医療機関や訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所などの関係機関と協力してサポートしています。

外来では、待ち時間対策と慢性疾患管理の強化を目的に予約制の検討をすすめました。(今年4月より予約診療をスタートさせました。完全予約制ではないので予約のない方も受診していただけます。なお、急患の方は予約がなくても優先で診察いたします)

通所リハビリは6月、デイサービス庵は11月から土曜日のサービス提供を開始しました。毎日、笑い声や歌声、レクリエーションの際には元気な歓声も聞かれ、活気にあふれています。今後も、ご家族の介護負担を軽減し、ご本人には楽しく生き生きと過ごす時間を持っていただけるように、日々創意工夫に努めてまいります。

毎年恒例の名南診健康まつりは10月に行いました。班の出し物など参加型の企画もあり、盛況でした。また、チラシを新聞折込みにした効果か、地域のお子さんの来場も例年より多くみられました。

4月に完成したリーフレットには「患者・利用者・ご家族のみなさまに寄り添い、在宅療養・介護を支えていきたい」「気軽に相談してもらえたい」「ほっとできる場所、笑顔で過ごせる場所を提供したい」という職員みんなの思いが詰まっています。ぜひ手にとってご覧ください。

## 中川 診療所

### 移転後2度目の春を迎えます

定期通院してくださる患者さまに加え、新規受診の方も増え、沢山の方にご利用いただいています。中川診療所外来の特徴の1つに特定健診・大腸がん検診の普及・推進が挙げられますが、



▲新築移転後、大幅に利用者さまが増えたデイケア

2012年度は750名以上の方が実施されました。健診はご自身の健康管理の一環として役立つと共に、早期発見・早期治療にもつながりますので、今後も医師・看護師共に力を注いでいきたいと思っております。また、待ち時間につきましては患者さまに大変ご迷惑をお掛けしておりますが、よりスムーズな診療・医療活動の質の向上を目指し、現在予約制導入の討議を重ねております。2013年6月からの開始を目標としています。

2階のデイケア(通所リハビリテーション)は利用者様も倍増し、大変活気に溢れるデイケアとなりました。また、理学療法士2名の配置によりリハビリの充実を目標に取り組みを進めた結果、身体機能の維持・向上へとつながり、在宅生活を続けて頂くことができました。みなさまが住み慣れた地域で生活を続けられることが私たちの喜びであり、更なる努力をしたいと思います。

地域組織活動においては、20年振りに移転新築1周年を記念し、行楽バスツアーを開催しました。友の会員さま・山口所長をはじめ職員を合わせ約100名の参加で成功でした。地域のみなさまが身近に感じられる診療所を目指したいと思います。

## 名南介護老人 保健施設 かたらいの里

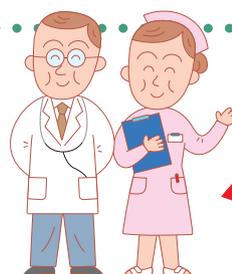


▲寄りそう介護の実践

今年度は介護報酬改定の年であり老人保健施設にとってどのような方針や役割・機能を持つかを求められる年でした。その中で私たちは利用者様の生活を支える視点で多様なニーズに応えられるように努力をしてきました。老人保健施設は近年ますます最期を迎える「看取りの場」としての機能を求められ、職員と家族で力を合わせ利用者様にとってその人らしい最期を迎えられるようなケアを実践してきました。認知症への対応についても、在宅で認知症の方を抱えるご家族様のために短期入所の緊急受け入れを積極的に受け、介護の負担軽減ができるよう役割を果たしてきました。

通所リハビリ(デイケア)では利用者様の「いつまでも元気に自宅で生活したい」という思いを叶えられるようリハビリテーションを提供してきました。また、認知症予防についても取り組んできました。

今後もこの地域の介護を支援する施設として地域の皆様にご利用して頂けるように努力してまいります。



## 名南在宅 総合センター きずな

1 日常の在宅生活支援のなかで、法人内・外の医療機関、施設、在宅サービスの事業所、いきいき支援センター等との連携に努めました。

病院、施設からの退院、退所の際には、関係するサービス事業所間での意思統一、情報共有ができるよう事前のコンファレンスをおこなっています。

訪問看護では、名南診療所の往診とも連携し、最期まで自宅で過ごしたいという利用者様、ご家族の意向に寄り添い、支援活動をおこなった方もありました。

2 3事業所(訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、居宅介護支援事業所)ともに、職員間での意見交換、よりよいサービスの提供ができるよう、定期的な会議、学習会の実施、研修会等への参加をすすめました。

3 訪問看護ステーション、ヘルパーステーションでは、看護専門学校からの学生、また法人2年目職員(名南ふれあい病院、かたらいの里の看護師・介護士)の在宅実習を受け入れました。

②「あつたしたちは、  
とともにもにすすめす。」

「地域の健康づくり」の運動は事業所と共同組織が一体となって  
すすめる最も重要なとりくみ。特定健診(友の会健診)、がん検診は  
目標や前年実績を上回り、地域での健康づくりのとりくみも前進しました。

●大腸がん検診・乳がん検診・特定健診(友の会健診)を重点に、「名南会健診委員会」を中心に友の会各地域支部との共同のとりくみとして、外来待合室や地域訪問での検診お勧め行動に大いに取り組みました。名南ふれあい病院近くでのショッピングセンター内での「まちかど健康チェック」が毎月1回定期的に開催されるようになり、あたらしく開始した「骨量測定」は大人気で毎回40名を超える方が利用さ

れています。また、あたらに2ヶ所で「健康体操サロン」がはじまり、毎回20名前後の参加で地域の期待を集めています。中川診療所では、秋の月間に4ヶ所でリニューアル1周年記念企画として「健康づくり懇談会」を開催しました。



名南ふれあい病院近くのショッピングセンターでの健康チェックの様子

中川診療所・健康づくり懇談会

名南病院リニューアル1億円資金募集運動にとりくみ、多くの社員・友の会員の方に資金協力をいただき、ここ数年では最高の法人全体で1億700万円の資金が集まりました。

●「名南会協同基金は、差額ベッドのない病院・よりよい病院、施設を支える大切な力」と職員、共同組織の共同で、今年度も各事業所で外来や病棟での訴え・地域訪問行動などにとりくみました。とりわけ、名南病院は「リニューアル1億円資金募集運動」を決定し、運動スタート集会、地域懇談会、外来・訪問行動など職員と友の会が共同で大きな取り組みとなり、名南病院地域は「積立通帳での協力者は200名を超えました。(全体の積立通帳協力者は1100件超)



名南病院外来待合室では、職員と友の会共同で、「協同基金」協力を訴え

職員と友の会共同で、地域患者さん宅を訪問し、資金協力をお願い

友の会班会は、地域の楽しい交流、仲間づくり、友の会の活動拠点づくり。  
～新しい班が4つ誕生しました～

●各地域で班づくりに目標をもってとりくみました。今年度は、名南診療所健康体操・わいわい健康体操サロン・ふれあいお食事サロン・ふれあいお食事サロンの4つが新班結成となりました。友の会のあたらな仲間づくりがひろがりました。



新班 わいわい健康体操サロン



新班 ふれあいお食事サロン

友の会員の要求を出発点に、友の会らしい仲間づくり・健康づくりの活動が広がっています。名南会の事業所との共同もすすめました。

●今年度は、「歴史探訪ウォーキング」「健康ウォーキング」「子育てサロン」「お食事会」「健康体操」など、これまでにない多彩なとりくみがはじまり、いずれも大好評です。「おしゃべりわいわいクッキング」「折り紙講習」も定例化がすすみ好評です。



おしゃべりわいわいクッキング

歴史探訪ウォーキング

●ボランティア活動では、かたらい通所リハビリ、名南診通所リハビリ・デイサービス、名南診喫茶コーヒーサロン、名南病院での日曜健診に加え、名南病院のお掃除や花壇づくり(名南病院・ふれあい病院)、名南病院外来でのお茶のサービスなどにとりくんできました。



名南診療所あそび(子育てサロン)

名南病院外来お茶出しボランティア

●中川診療所では、12月にリニューアルオープン1周年のつどいを40名の参加で成功させました。



中川診療所リニューアルオープン1周年のつどい

平和、くらしを守るとりくみ  
～みんなで学んでみんなで行動～

●私たちは何よりも「いのち」を大切に、「貧困化」など困難が広がる地域に寄り添い、誰もが医療を受ける権利(生存権・受療権)を守ります。「脱原発」の運動がかつてない広がりを見せる中で、「さようなら原発集会」や「いのちまもる国民集会」などに、職員と友の会共同で参加しました。社会保障大改悪、高すぎる国民健康保険料、生活保護基準の引き下げ、TPPなど深刻な事態が進行する中、「(名古屋市)国保改善署名」「社会保障と税の一体改革反対署名」などの学習会や署名活動にとりくみました。



10.17いのち・生活・安全まもる国民集会(東京、名南会より12名参加)



全国から17万人が参加した、7月16日代々木「さようなら原発集会(名南会より17名が参加)

安心して暮らせるまちづくり、高齢者の見守り活動をすすめました

●高齢者、独居世帯の見守り活動、いざという時に役立つ命を守る「救急情報BOX」を訪問行動などで普及しました。「防災学習会」や「まちなみウォーキング」など、地域の問題点や課題を集約し、他団体との協力・協同とともに、行政機関への働きかけは今後取り組みを強めていきます。



救急情報BOX

楽しい友の会全体企画、地域での行事などでは、職員、共同組織相互の親睦が深められました。1年間で253名の友の会員が増え、地域の仲間づくりの輪がひろがりました。

●友の会全体の企画として、「春の行楽」「秋の行楽」「大須観音初詣・大須演芸場初笑い」などにとりくみました。



健康友の会毎年恒例、大須演芸場初笑いには毎年満席



名南健康友の会秋の行楽は、「近江八幡」

# 医療法人名南会 2013年度方針(案)

震災から2年経つにもかかわらず、被災三県では、生業を失い自宅を離れて暮らさざるを得ない人が32万人、福島県だけでも16万人以上となっています。コミュニティが崩壊し、震災関連死は9月末(復興庁発表)で2300人を超えています。また、自殺や孤立死も後を絶たず、復興は一向にすすんでいません。

「貧困と格差」もますます深刻化しています。相次ぐ孤立死、孤独死、労働者の三人に一人が非正規雇用で、年収200万未満の雇用者が1045万人を超える社会は異常です。保険料や窓口負担が払えないために手遅れとなった事例はあとを絶ちません。全日本民医連の調査でも、お金がなくて医療機関への受診が遅れ亡くなった人が、2012年の1年間で58人に上っています。うち、国保の短期証を含め正規の保険証がない人が67%と、国民皆保険制度の危機的状況の広がりを示しています。

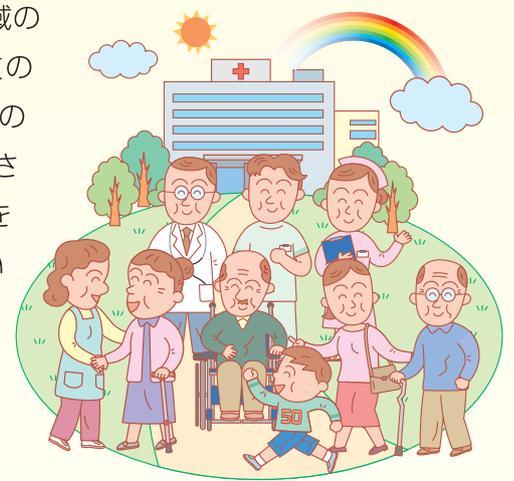
生活保護の世帯、人とも史上最高を更新し続けています。生活保護が増えると国家財政に影響を与えるという理由で、申請が増大している原因には目をつむったまま保護費の削減や医療費の一部負担導入をすすめようとしています。人生の中で様々な困難に陥ったときに公的に支援する制度を利用することは憲法25条で保障された人間の尊厳を守る権利です。

子どもや障害者の医療費の一部を補助する「福祉医療制度」について、財政難を理由に愛知県が見直す方針を打ち出し、4月にも最終案をまとめる予定となっています。医師会も「企業優遇、弱者切

り捨てるの典型」と反対を表明し、私たちも愛知県社保協に結集し運動を広げています。名古屋市の高齢者世代の負担増も激しいものです。老年者控除の廃止、介護保険料、国保料のあいつぐ値上げ、住民税の減免縮小などにより、この10年間で5万8千円から35万7千円(65歳単身・年金月20万円)と急増しています。

医療法人名南会は、昨年度の総会において、2012年度から2016年度までの第6次長期計画を策定しました。「医療・介護ネットワークをつくり、安心して住みつづけられるまちづくりへ、民医連綱領の立場で役割を果たそう」をテーマに、名南会を次代につなげる計画となっています。2012年度は、長期計画初年度にあたり、名南病院リニューアル、要求にもとづいた地域組織活動、医師の養成などで前進をつくり出してきました。

医療法人名南会は、地域の困難に寄り添い、健康友の会の強化に努め、専門職の確保・育成で事業を前進させてきました。医療経営をめぐる困難な状況は続いています。全日本民医連に結集し全国の経験に学びつつ、協同の取り組みを強めていきます。



## 2013年度の重点課題方針

### ① 地域で民医連綱領を掲げ、安心して住みつづけられるまちづくりへ

「無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす」民医連綱領を高く掲げ、健康友の会と共に、安心して住みつづけられるまちづくりへ役割を果たしていきます。憲法を学び憲法を守る活動、住民本位の復興と原発ゼロの運動、平和を守る活動、TPP参加に反対し国民皆保険を守る運動、消費税増税反対の取り組み、無料低額診療事業の地域での普及など、地域の諸団体との共同のたたかいをすすめます。

### ③ 「地域と共に歩む人間性豊かな専門職」の育成をすすめる

医師の育成は、医療法人名南会にとって引き続き最重要課題です。2013年度は、名南病院内科関連施設の申請、外科修練施設の維持を実現し、総合診療プログラムをめざし、プライマリ・ケア連合学会認定医の取得をめざします。看護師の育成を、育てる奨学生活動、新人看護職員研修、リーダー研修から認定看護師まで整備をすすめます。青年職員の交流と育成、系統的な管理者教育・研修をすすめます。

### ② 地域の医療・介護ネットワークの中で積極的な役割を担う

名南会の各事業所が地域でなくてはならない役割を担うために、地域の医療・介護ネットワークの中に自事業所を位置づけ連携を強め、求められる機能を高めていきます。とりわけ、人権としての「健康権」を保障する健康づくり、ガン医療も含めた慢性疾患医療、地域包括ケアを担う在宅医療支援を重視します。名南病院リニューアル第3期工事を、名南病院の地域における役割とあわせて検討します。

### ④ あらゆる活動を健康友の会とともにすすめる

医療法人名南会は、健康友の会との協同の前進なくして、医療・介護活動も経営活動も前進させることはできません。①地域で連携し助け合う組織、②平和・憲法を守りまちづくりをすすめる医療・福祉住民運動組織、③事業所を守り発展させる共同組織として、健康友の会の拡大・強化に取り組みます。健康友の会とともに、まちづくり運動、健康づくり運動、地域資金募集運動に取り組みます。

### ⑤ 全役職員による経営改善をはかり、安定した経営をめざす

事業所管理会議での集団的な検討をもとに、職場ごとの課題・目標を分かりやすく設定し、毎月の予算達成をめざします。職責者の役割を高め、事業所の課題・方針をそれぞれの部所の課題に具体化し

ていきます。公認会計士の指導のもと経営管理実務の整備をすすめ、事務管理者の育成をはかっていきます。医療法人名南会を非営利・協同の医療法人組織として整備するため検討を開始します。